

令和6年度 学校経営方針

千代田区立麹町小学校
校長 田村 砂弥香

- 教育振興基本計画（第4期） 「**持続可能な社会の創り手**の育成」 「日本社会に根差した**ウェルビーイングの向上**」
- 東京都教育ビジョン（第5次） 「**誰一人取り残さず**、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育」
- 千代田区子育て・教育ビジョン 「子どもの健やかな育ちをまち全体で支援し、**一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす**」

- 社会の現状と課題
- 児童の実態
- 地域の願い
- 保護者の思い
- 教職員の思い



学校の教育目標

よく考える子

思いやりのある子
進んではたらく子

明るく元気な子

- ・ 学ぶことが好き、楽しい
- ・ 学んだことを活用できる
- ・ 学び方を知っている 等

- ・ 自他の命を尊重する
- ・ 相手の立場に立って考える
- ・ 自分にできることを考える 等

- ・ 心身の健康を保つ
- ・ 健康のために生活を整える
- ・ 心身の不調に対処できる 等

令和6年度 学校経営方針

目指す学校像

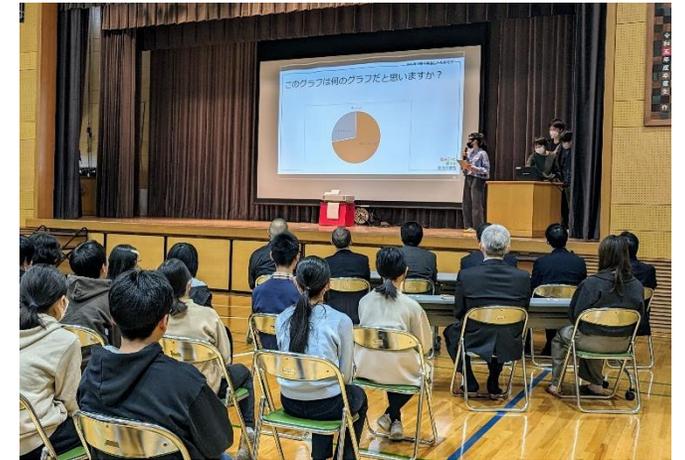
豊かな関わりの中で、一人一人が自らの可能性を伸ばす学校

▶ 次代を担う子どもたちに求められる学びを実現する学校

- ・カリキュラム・マネジメントを行い、探究的な学びを通して思考力・判断力を育成する。
- ・「ちよだスマートスクール」を推進し、ICT環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

▶ 多様な他者と認め合いながら、自他を大切にする豊かな心を育む学校

- ・児童が互いに認め合い、チャレンジを称賛し合う組織風土を醸成する。
- ・児童理解に関する教職員の資質・能力の向上を図りながら、心理的安全性の高い学級経営を行う。



令和6年度 学校経営方針

目指す学校像

豊かな関わりの中で、一人一人が自らの可能性を伸ばす学校

▶ グローバルな視野を身に付け、世界で活躍できる力を育む学校

- ・ 国際教育を通して、異文化を理解し尊重する態度や、豊かな国際感覚を醸成する。
- ・ 我が国の歴史や文化、伝統芸能に親しみ、その魅力を発信する活動を推進する。

▶ 社会の一員として、主体的に貢献できる力を育む学校

- ・ 持続可能な社会の創り手として活躍できる資質・能力を育み、主体的に貢献しようとする意識を醸成
- ・ 子どもたちが社会の一員として自分らしく生きていけるようにするために、社会に参画する意識、勤労観や職業観を育むキャリア教育を推進



令和6年度 学校経営方針

目指す学校像

豊かな関わりの中で、一人一人が自らの可能性を伸ばす学校

▶ 心身の健康を保持増進する力を育てる学校

- ・ 児童が運動に親しみ、楽しんで体を動かす習慣を身に付け、体力を向上できるよう、体育的活動やコーディネーショントレーニングを推進
- ・ 体育の授業や保健指導、食育を通して、児童のヘルスリテラシーを高める健康教育を推進



▶ 一人一人の子どもに寄り添い、安全・安心を守る学校

- ・ 児童の特性に応じた指導・支援を行うとともに、保護者や関係諸機関との連携を図り、インクルーシブ教育を推進
- ・ 不登校児童の状況を継続的に把握し、保護者や関係機関と連携して支援するとともに、教室に行きにくい児童が個別学習できるサポートルームを校内に整備し、学びの機会を保障



令和6年度 学校経営方針

目指す学校像

豊かな関わりの中で、一人一人が自らの可能性を伸ばす学校

▶ 地域とともに子供を育み、成長を喜ぶ学校

- ・ 幼稚園や保育園との交流を行うとともに、第1学年におけるスタートカリキュラムを充実させ、就学前教育との円滑な接続を図る。
- ・ 地域人材と協働して教育活動のさらなる充実を図る。

▶ 教職員のウェルビーイングを実現する学校

- ・ 教職員同士の心理的安全性が確保され、チームワークが機能する組織をつくる。
- ・ 校務分掌組織を改編し、職層を生かして業務を組織的に進めるとともに、人材育成に役立てる。また、ICTを活用してペーパーレスと業務の効率化を図る。



令和6年度 学校経営方針

学校経営の方針

組織で力を発揮する「チーム Co.じまち」

cooperate

(協力する)

- ・ チーム麴町として組織で対応
- ・ 校務分掌を見直し、超過勤務を縮減

collaborate

(連携する)

- ・ 専門職員や関係機関と連携して対応
- ・ 児童一人一人に寄り添った切れ目のない支援

conversation

(対話する)

- ・ 教職員が学び合い、よりよい教育を追求
- ・ 職場のチームワークを最大に発揮

compliance

(法令順守)

- ・ 法令や教職員としての倫理に則り、サービス事故を絶対に起こさない
- ・ 事故を生まない職場環境を維持